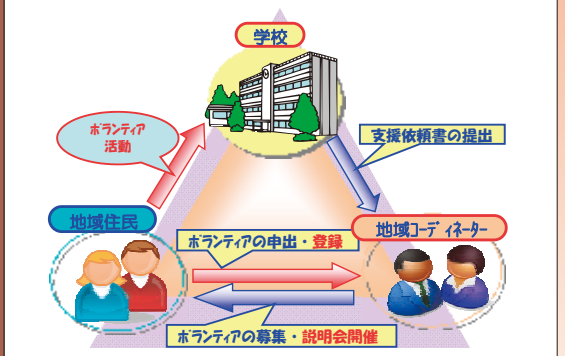


地域全体で子供を育む学校支援活動

鹿児島県鹿児島市	● 活動名	● 関係する学校名
	学校支援ボランティア事業和田小学校	鹿児島市立和田小学校

開始年度	平成 20 年度	学級数	28 学級	児童・生徒数	775 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	連携団体・企業等	
ボランティアの数	登録人数 212 人	属性	PTA、元教員、大学生、民生委員 読み聞かせグループ、女性団体、地域住民等		
参考 URL	http://www.keinet.com/wadas/				

● 体制図



● 連絡先 鹿児島県鹿児島市教育委員会生涯学習課 ☎ 099-813-0851

● 活動の概要・経緯

- 鹿児島市では、地域住民に組織的・計画的に学校の教育活動を支援してもらうために、「学校支援ボランティア事業」を推進している。これは地域住民の知識・技能・経験や、子供たちの教育のために役立ちたいという熱い思いを生かした無償のボランティア活動である。
- 本校においては、平成 20 年度から本事業に取り組み、地域住民だけでなく、保護者や大学生がボランティア登録したり、おごじよ隊や青色パトロール隊、民生委員などと連携協力したりするなど、地域の教育力の向上に大きな役割を果たしている。
- 学校からの様々なニーズに対応できるボランティアの人材発掘や効果的な活用を推進することにより、地域住民の学校教育活動に対する関心が高まってきている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- おごじよ隊や青色パトロール隊、民生委員などが、交通量の多い道路の登下校の見守り活動や交通安全教室への支援を行っており、学校と地域が一体となって子供たちの安全確保や不審者対策を行っている。
- 鹿児島国際大学生が、年間を通して国語、算数、体育（水泳）などの学習支援をしており（特別支援学級も含む）、中でも外国語活動（英語）については、教師や子供たちと一緒に歌やゲームを実施しており、充実した取組を行っている。
- 読み聞かせサークル「もみじ会」と「タンポポ会」が、朝の読書タイムにおいて、年間を通した読み聞かせ活動を行い、子供の読書活動を推進している。

【実施にあたっての工夫】

- 学校支援ボランティア担当（教務係）を校務分掌に位置付けるとともに、地域コーディネーターが年 3 回学期初めに学校職員へ、年 6 回地域コミュニティ協議会構成員へ本事業の趣旨や現状説明を行い、地域と学校との円滑な連携を図っている。
- 地域コーディネーターが鹿児島国際大学を直接訪問し、副学長や担当教授へ説明を行うことにより、大学との円滑な連携を図っている。
- 活動後の簡易な反省会でボランティア同士の情報交換を行ったり、学校の掲示版などに活動の様子を展示したりするなどし、学校と活動者の本事業に対する相互理解に努めている。
- 効果的に事業が展開できるように、4 月始め全校集会でボランティアの方々を紹介したり、1 年間の終わりに感謝状を贈呈し、交流給食会をしたりしている。

● 事業を実施しての効果・成果

- 学校・地域における本事業の趣旨や実施方法等への理解が図られ、子供たちの学習意欲の向上や学校と地域の連携・協働、地域の教育力の向上、地域の活性化につながってきている。
- コーディネーターと地域コミュニティ協議会役員で組織する地域教育協議会を地域コミュニティ協議会の組織の中に位置付けることにより、地域における本事業の推進への理解と啓発に効果を上げている。
- 昔の遊びなど高齢者の学校行事等への参加が増加してきている。また、子供の安心・安全につながる活動がボランティアの方々の活動意欲を高めている。
- 子供と年齢が近い大学生が支援に入ること、明るく楽しみながら学習に取り組めるようになり、授業の活性化が図られている。また、大学生も福祉系や心理学系などの専攻科目の貴重な経験になっているとともに、地域住民との触れ合いの場となっている。

● その他

学習支援・・・大学生による年間を通した 1・2 年生の国語科と算数科（理解が不十分な子への個別支援等）・理科（実験の支援）。地域住民による国語科（毛筆の個別支援）・社会科（歴史）。大学生・地域住民・保護者による 5・6 年生の外国語活動への支援。



大学生による算数科の学習支援の様子



民生委員・おごじよ隊による一年生の交通安全教室への支援

ポイント

大学との連携体制を活かし、大学生がボランティアとして国語や算数の学習支援をしたり、子供たちと一緒に外国語で歌やゲームをしています。学校という場が世代間交流の場になっていて素晴らしいですね。